

福祉

福祉が
気になる
あなたへ

まるわかり

B O O K

2 0 2 7

Japan College of Social Work



ソーシャル
ワーカー
仕事図鑑

日本社会事業大学

Strong Points



福祉のリーダーを養成する

日本社会事業大学

社会福祉学部

【共生社会デザイン学科／ソーシャルワーク学科】

ソーシャルワーカー仕事図鑑

近年は、高齢者の自立生活への支援が重要視されています。日常生活の相談や訪問、必要に応じた介護提供などを通して、高齢者とその家族が安心して暮らせる環境づくりを実現します。また現在は、介助提供ができるソーシャルワーカーとして、介護福祉士の需要が高まっています。

主な職種

- 高齢者福祉施設や障がい児・者施設などの生活相談員(ケースワーカー)
- 高等学校福祉科教員
- 介護支援専門員

この分野の主な就職先

- グループホーム
- デイケアセンター
- 特別養護老人ホーム
- 福祉事務所
- 市区町村役所

高齢者福祉分野

- 日常生活の相談に乗り、適切な支援を提供
- 老老介護となっている方の生活を援助
- 独り暮らしの方が地域と交わる機会をつくる
- 年金・医療・介護など社会保障制度の紹介



障がいのある方に、福祉サービスや施設利用についての情報提供を行うほか、技術取得のアドバイスなどを含めて、各自のニーズに合った就業をサポートします。支援に必要な「法」や「政策」など、基盤となる社会制度づくりで、障がい者の住みよいまちづくりを目指します。

主な職種

- 医療ソーシャルワーカー
- 精神科ソーシャルワーカー
- 生活相談員(ケースワーカー)
- 高等学校福祉科教員

この分野の主な就職先

- 市区町村役所
- 福祉事務所
- 障がい児・者施設
- 精神保健福祉センター
- 病院
- リハビリ施設
- 特別支援学校教員

障がい者福祉分野

- 生活上の相談に乗り、的確に支援する
- 障害年金や福祉サービスに関する情報を提供
- 支援に必要な「法」「政策」をつくる



両親や学校、関係機関など周りの環境に働きかけ、いじめや不登校の解決を目指します。また、家庭の事情で家族と暮らせなくなった子どもの生活支援や、離別や家庭内暴力で生活の基盤を失った母子の保護、子育てに悩む親のサポートと、ほかにも幅広い活躍のフィールドがあります。

主な職種

- スクールソーシャルワーカー
- 母子指導員
- 児童指導員
- 児童福祉司
- 保育士
- 特別支援学校教員

この分野の主な就職先

- 教育機関
- 保育所
- 児童養護施設
- 児童相談所
- 母子生活支援施設
- 特別支援学校
- 家庭裁判所

子ども・家庭福祉分野

- いじめ・不登校の問題を探り解決に導く
- 虐待やDVのある家庭環境の改善に努める
- 子育てに悩む親の相談に乗りサポートする
- 親や学校など周囲の環境にも働きかけ、子どもとの関係を改善する



入院生活を送る患者の方の中には、入院費の問題や退院後の社会復帰など、さまざまな悩みを抱える方がいます。こうした相談に応じて、保障や福祉サービスなどの情報を提供し、家族や医療従事者と連携をはかりながら、個々に合ったケアで退院後の生活まで支援します。

主な職種

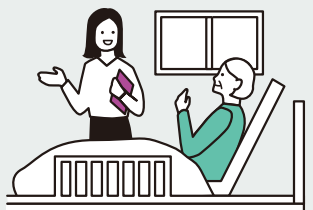
- 生活相談員(ケースワーカー)
- 医療ソーシャルワーカー
- 精神科ソーシャルワーカー

この分野の主な就職先

- 病院(医療福祉相談室など)
- リハビリ施設
- 地域の相談機関

医療福祉分野

- チーム医療の一員として連携し、患者を支える
- 医療費の相談に乗り、保険などの情報を提供
- 今後のより良い生活を患者や家族と共に考え支援する



ソーシャル ワーカーとは

社会福祉の専門家のこと。“社会福祉士”という資格を持って、悩みや困難を抱えている人を支援したり、その人の周囲の環境にも働きかけたりするのが主な仕事。これからの福祉に必要とされる“ソーシャルワーカーの仕事”をご紹介します。

低所得者福祉分野



- 母子家庭への福祉サービスや自立・就労の支援を行う
- ホームレスの方が生活を立て直す具体策を考える
- 生活保護受給者の経済的な自立を支援する

経済的に困窮している方や、「ひきこもり」など社会と隔絶された環境にある方の生活を立て直すため、相談にのり、具体的な解決策を探ります。法制度や福祉サービスのアドバイス、経済的な自立へ導く支援はもとより、当事者の気持ちに寄り添ったケアで、新たな生活の実現へと導きます。

主な職種

- 公務員
- ボランティア・コーディネーター
- 地域包括・在宅介護支援センター職員
- 高等学校福祉科教員

この分野の主な就職先

- 福祉事務所
- 市区町村役所
- 社会福祉協議会
- NPO団体

地域福祉分野



- 地域の人々をつなぐコミュニティをつくる
- ボランティア活動を推進、福祉への関心を促す
- バリアフリーのまちづくりに努める
- 大きな災害が起きたときの支援のあり方を計画する

地域に必要なサービスの考案や、福祉に携わる方々のネットワークづくりなどで、だれもが暮らしやすいまちづくりを目指します。ボランティア活動の推進やコミュニティの育成、ユニバーサルデザインの普及など、身近な支援を通して、地域住民に福祉への関心を促すことも大切な要素です。

主な職種

- 公務員
- ボランティア・コーディネーター
- 福祉関連団体・企業の専門職
- 高等学校福祉科教員

この分野の主な就職先

- 行政機関
- 社会福祉協議会
- 市区町村役所
- NPO団体
- 福祉関連団体・企業

福祉施設の管理・運営



- 福祉サービスについて相談やアドバイスを行う
- 利用者にも働く人にも快適な施設環境をつくる
- 生活の向上をめざし理想をもって施設を運営

健康や経済上の理由から、生活に支援を必要とする方のための福祉施設の運営を担います。利用者やその家族の満足はもちろん、施設スタッフにとっても働きやすい環境やシステムを考え、企画立案を行います。予算計画、サービス向上のための研修・教育なども含めて、よりよい施設の実現に努めます。

主な職種

- 公務員(国・地方自治体)
- 福祉関連団体・企業の専門職
- 一般企業の福祉担当者

この分野の主な就職先

- 行政機関
- 公立施設
- 福祉関係団体・企業
- 社会福祉協議会
- 一般企業

福祉制度の計画・実施



- 今の社会事情に応じた社会保障制度をつくる
- 生活に困難を抱える人の自立を支援する
- 安心して暮らせる地域コミュニティを育てる

高齢者や児童、障がいのある方、経済的困難を抱える人などへの具体的な福祉サービス、またすべての人々が安心して暮らせる社会を支えるための制度をつくりまします。今日の社会・経済の状況、福祉課題やニーズを的確にとらえ、世の中の変化に対応したさまざまなサービスを計画し、実行していきます。

主な職種

- 公務員(国・地方自治体)
- 社会福祉協議会職員

この分野の主な就職先

- 行政機関
- 公立施設
- 社会福祉協議会

歴史 History

日本で唯一、 政府の委託により 運営している大学

▶ 詳しくは大学案内 P11へ！



1946年、福祉専門職養成の ために開校

GHQが戦後改革を進める中、同年公布された日本国憲法25条(生存権)の基本理念を踏まえ、生活保護法などの新しい社会福祉制度が専門的訓練を受けた人材によって運営されることが求められました。そのため厚生労働省(旧・厚生省)の委託を受け、日本初の福祉専門校として開校したのが、本学の前身となる日本社会事業学校です。

日本で唯一の厚生労働省委託大学

日本社会事業大学は、厚生労働省の委託を受けて指導的社会福祉従事者の養成を行っている日本で唯一の大学です。福祉系大学のモデル的役割を果たす存在として、未来を見据えた社会福祉教育の拠点となっています。

1946年
(昭和21年)

国民の生活向上施策を受け
厚生労働省(旧厚生省)の委託により、

**日本初の社会福祉の
専門教育機関**となる

本学の前身、日本社会事業学校が開校
日本社会事業大学が誕生

1958年
(昭和33年)

1989年
(平成元年)

東京都清瀬市へ移転。

厚生労働省の委託による

福祉系大学のモデル校
となる



2004年
(平成16年)

日本で初めての**福祉専門職大学院**として
福祉マネジメント研究科を設置

2016年
(平成28年)

創立70周年を迎える

2018年
(平成30年)

学長室設置

2026年
(令和8年)

日本社会事業大学
創立80周年

教育 Education

一人ひとりを
大切にする学びの場

自ら考え 発信する力を養う 少人数教育

▶ 詳しくは大学案内 P13へ！

1学年約200人

少人数教育

3つのメリット

1. 学生と教職員との距離が近い
2. きめ細やかな指導が受けられる
3. 実践的スキルを高められる

日本社会事業大学の



学 費 Tuition fees

手厚い学びへの支援

国公立大学並の教育費負担

▶ 詳しくは大学案内P62 へ!

学 費

政府からの委託大学だからこそ 学生の負担を最小限に

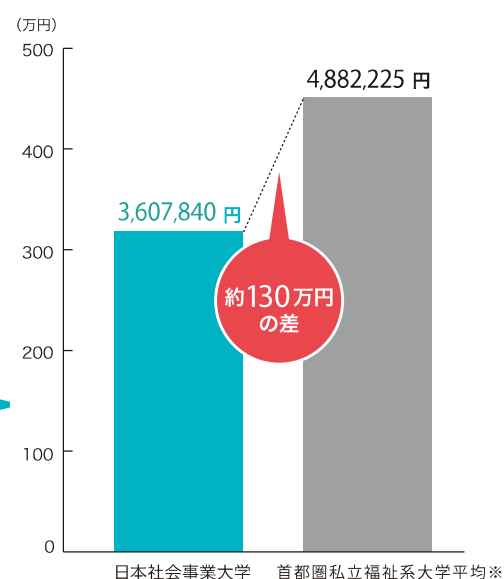
本学は福祉の専門教育機関として、「指導的社会福祉従事者(福祉のリーダー)の養成」を目的に政府より委託を受けて設置された大学です。入学金や授業料は国立大学の標準額相当で、各種奨学金も充実しているため、学生の経済的負担が大きく軽減されます。

他の私立大学と比べると、その差は約130 万円

4年間でかかる学費は大学により異なります。本学は他の私立大学と比べると約130万円も軽減可能となるため、経済的理由から大学進学をあきらめていた学生も多く受験。各種奨学金などを活用すれば、さらに安心して勉学に励むことができます。

在学期間(4年間)納付金総額の比較

※首都圏私立福祉系21大学の平均(各大学HPより)



思考力やコミュニケーション力に 磨きがかかる

各学年に少人数制クラスの科目を配置し、演習形式の学修機会を設けています。意見を発信する機会が豊富なので、倫理的に考えをまとめる能力が身につきます。フィールドワークや、ディスカッションなどの多彩な手法で学修を進めます。幅広い考え方や価値観に触れ、相互に意見を交わせる力を養います。

密なコミュニケーションで 研究を究める

本学は1学年約200人前後と少人数です。単科大学で少人数だからこそ、福祉について語れる仲間ができることも大きな魅力の1つです。また、学生と教員との距離が近く、学びの面でのサポート体制も万全です。温かい信頼関係を築き、学生一人ひとりの個性を重んじた教育を行います。



Strong Points

●初年度納付金合計

全納	1,138,960円
前期分	817,480円
後期分	321,480円

●在学期間(4年間)納付金総額

3,607,840円

社会福祉学部

費目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
入学金	282,000	-	-	-	入学時のみ
授業料(全納)	642,960	642,960	642,960	642,960	
(分納×2)	321,480	321,480	321,480	321,480	
教育充実費	200,000	180,000	180,000	180,000	
諸会費	14,000	-	-	-	入学時のみ
合計(全納)	1,138,960	822,960	822,960	822,960	
合計(分納)	前期分 817,480	501,480	501,480	501,480	
	後期分 321,480	321,480	321,480	321,480	

奨学金制度

本学独自の奨学金制度

障害学生奨学金給付制度

基準	種別	金額	返還	募集
身体などの障がい起因して、修学上特別な経済的支出を必要とする学生	給付	年間教育充実費相当額を上限とする	返還義務なし	1月

日本社会事業大学外国人留学生授業料減免制度

留学生を対象に年間授業料の30%を減免する制度です。応募者の中から審査により決定しますので、応募者全員が減免対象になるとは限りません。減免援助金は、後期授業料から減免援助金額を差し引きます。

国による高等教育修学支援新制度

日本社会事業大学は、住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯を対象として、国が実施している「高等教育の修学支援新制度」(授業料減免・給付型奨学金)の対象機関となっています。

文部科学省「高等教育の修学支援新制度」

修学支援新制度の概要についてはこちらをご覧ください。



日本学生支援機構「給付奨学金」

給付奨学金の概要はこちらをご覧ください。



その他の奨学金

【実績のある地方公共団体及び民間団体の奨学金制度】

東京都介護福祉士等修学資金／交通遺児育英会奨学金／公益財団法人ヤマト福祉財団奨学金／公益財団法人鉄道弘済会奨学金／あしなが育英会奨学金／愛恵福祉支援財団ペイン記念奨学金／篠原欣子記念財団奨学金 ほか



資格
Qualification

夢を叶える資格取得支援

万全の試験対策で高い現役合格率

卒業と同時に全員が社会福祉士の国家試験受験資格を得られます。
また、全員が社会福祉士国家試験を受験するように取り組んでいます。

第38回 社会福祉士国家試験
現役合格率

日本社会事業大学

84.8%

※全国平均合格率60.7%

第28回 精神保健福祉士国家試験
現役合格率

日本社会事業大学

100%

※全国平均合格率78.2%

第38回 介護福祉士国家試験
現役合格率

日本社会事業大学

100%

※全国平均合格率70.1%

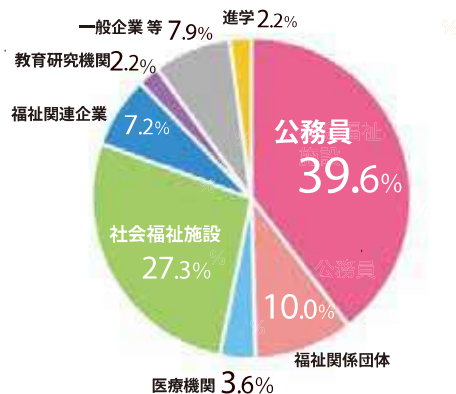


就職 Employment

一人ひとりに合った就職支援で 9割が社会福祉分野へ就職

詳しくは大学案内 P19-20へ！

日本社会事業大学進路内定者内訳



約9割の学生が社会福祉分野へ就職・進学します。同じ志を持った仲間とともに勉学に励むことができ、福祉分野で活躍している先輩が多いことも、本学で学ぶメリットです。

就職率

96.5 %

(2026年3月31日現在)

はじめの一步から具体的な対策まで

本学には全国の社会福祉施設や福祉関係団体からたくさんの求人票が集まります。また公務員採用試験の対策にも力を入れているため、多くの卒業生が**福祉現場の第一線**や**地方自治体などの福祉担当職**として活躍しています。学生一人ひとりの希望・適性を考慮し、また社会福祉分野の動向なども見すえながら進路先で十分力を発揮できるよう、きめ細かい個別指導をしています。

就職支援サポートプログラム

キャリア支援は1年次からスタートします。年間を通じて個別就職相談、就職ガイダンスのほか、就職支援プログラムを実施しています。また卒業生の就職体験記をはじめ、就職に関する書籍・雑誌も取り揃えています。本学の長い歴史とともに蓄積してきた卒業生の就職に関する情報とノウハウ、ネットワークを駆使し、全力で学生をサポートします。

詳しくは大学案内 P19-20、P29-30へ！

※令和7年度実績

活躍の場を さらに広げる資格にチャレンジ

精神保健福祉士国家試験受験資格、介護福祉士国家試験受験資格、保育士の取得もめざせます。また、スクールソーシャルワーク教育課程、特別支援学校教員養成課程などの科目群も用意。現代のニーズに対応した専門家を養成します。

取得できる資格

【全員が取得できる】

社会福祉士国家試験受験資格

【共生社会デザイン学科・ソーシャルワーク学科 両学科で取得できる】

精神保健福祉士国家試験受験資格／高等学校教諭一種免許状(福祉)／特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)／認定スクールソーシャルワーク(教育課程指定科目)／社会福祉主事(任用資格)／身体障害者福祉司(任用資格)／知的障害者福祉司(任用資格)／児童指導員(任用資格)

【ソーシャルワーク学科のみ取得できる】

介護福祉士国家試験受験資格／保育士／児童ソーシャルワーク課程(修了認定)

在学生の声



社会福祉協議会や介護の現場で
実践的な学びなど積み重ねる

土谷 紗代 さん

社会福祉学部 福祉援助学科 4年 介護福祉コース

【出身高校】東京都立深川高等学校

【取得見込みの資格】介護福祉士・社会福祉士

幼い頃、母が祖母を支える姿を見て育ち、困難や悩みを抱える人々を支えることが自身の使命だと感じるようになりました。この思いから、社会福祉士を目指し、充実した実習設備と少人数教育が魅力の本学で福祉を学んでいます。

入学当初は「専門知識でクライアント※の課題を解決したい」という思いが強かったのですが、ソーシャルワークの実践を通じて、「クライアントの意思決定を尊重し、他職種や社会資源の力を借りながら解決策を探る大切さ」を学びました。

卒業後、将来福祉の現場で活躍したいという強い思いがあり、社会福祉士と介護福祉士の資格取得を目指しています。福祉の領域は広範ですが、どの現場に携わったとしても、支援者としてクライアント一人ひとりを深く理解し、的確な支援ができるよう、今後も学びを深めていきます。

※クライアント：支援を必要とする人

卒業生の声



自治会や子ども食堂の運営など
大学での多彩な経験が仕事で輝く

宮東 英維 さん

社会福祉法人 睦月会 Seamless Support Labs原宿支援員

2024年 社会福祉学部 福祉計画学科 福祉経営コース卒業

【取得している資格】社会福祉士

大学の授業で出会った社会福祉法人睦月会がきっかけで、福祉業界の中でも障がい分野に進みました。現在は、2024年12月に原宿に開設された一体型通所施設「Seamless Support Labs 原宿」で支援員として働いています。

利用者の工賃向上を目指し、利用者の特性や興味関心に応じた支援を日々考えています。利用者一人ひとりの状態やニーズを見極め、「その人にとって有意義な活動とは何か」を意識しながらプログラムを企画しています。

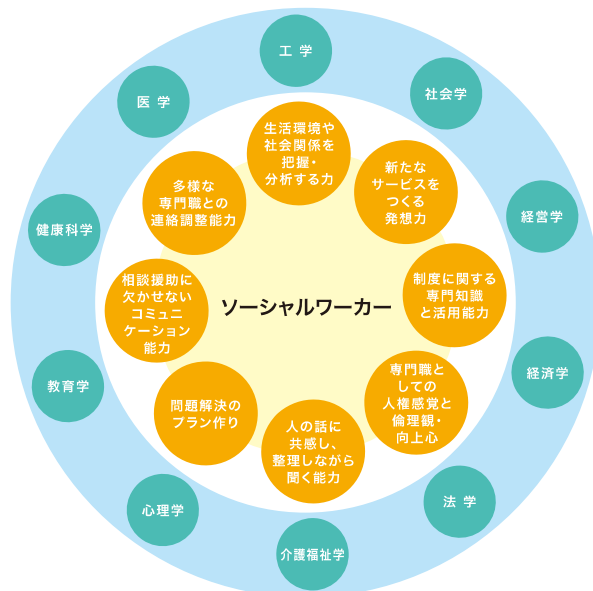
大学4年間の多様な経験から、「無駄なことは何もない」という考えを持つようになり、まずは何でも試してみることが心がけています。楽しみながら取り組むことで、自分が成長していると実感できます。この前向きな姿勢を大切に今後も仕事に取り組んでいきたいです。

ソーシャルワーカーになるためのスキル

ソーシャルワーカーには、相談援助に欠かせないコミュニケーション能力、問題解決の糸口を探るために必要な観察力、時として新たなサービスをつくる発想力など、様々な能力が求められます。そのためにも、福祉の専門的な知識はもちろん、幅広い分野の学びが必要です。

日本でソーシャルワーカーを目指すには「社会福祉士」、分野によっては「精神保健福祉士」を目指すのが一般的。日本社会事業大学では、**社会福祉士の受験資格を全学生が取得できるカリキュラム**になっています。

※本学においては、併せて精神保健福祉士を目指すこともできます。



日本社会事業大学

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30

TEL.042-496-3000(代表)

TEL.042-496-3083(広報・高大連携室)

FAX.042-496-3081 <https://www.jcsw.ac.jp/>

入試情報をSNSでお届け

オープンキャンパスや入試日程などの入試情報をSNSで発信中！



「キーワード検索」で
「@jcsw_pr」を入力



「友だち追加」から
「ID検索」で
「@637sreul」を入力

